

田中拉致問題担当大臣記者会見要旨

【拉致問題関連部分抜粋】

(平成24年10月12日(金) 10:36~11:02 於) 法務省19階会議室)

1. 発言要旨

拉致関係の問題でありますけれども、今週、明日になります、この拉致問題については三田会館において、拉致被害者家族の総会がありますので、こちらに出席をさせていただきながら、家族の皆さんの意見や、あるいはまた皆さんとの交流を深めてまいりたい、このように考えているところでございます。

以上、申し上げましたとおりでございますので、また記者の皆さんから御質問を受けたいと思います。

2. 質疑応答

(問) 拉致問題についてなのですけれども、明日、御家族に会われるということなのですが、10月15日で被害者が帰国して10年になるのですけれども、なかなか進展がない、ありません。その部分についての受け止めと、今、大臣をめぐる問題が指摘される中で、被害者家族の信頼を得て問題解決を図っていけるのかどうか、これについて大臣はどうお考えなのか、お願いします。

(答) このような報道をされておりますが、拉致問題というのは人権問題であり、また、そのことを含めてお会いするために、一日も早く解決をしていかなければいけないという、こういうことが現実問題として私は考えております。

ですから、できるだけ多くの情報の収集にも現在入っておりますし、また時と場合によっては、その国々の方の皆さんともお会いをしながら、そして一日も早い、私は時間との勝負だと思っておりますし、何とか10年という、この今年、けじめをつけるために全力を尽くしていきたいと、こう思っているところでありますので、今回の御指摘をされた問題とは別に、私はこの問題とは別に、この拉致問題というのは、本当に私の個人的な問題とは違って全力投球でやっていかなければいけない。あの拉致家族の皆さん、あるいは人権の問題、あるいは国の問題でありますから、そう思っているところであります。

(以 上)